

豊田市つながる社会実証推進協議会 「未来都市研究会」の活動

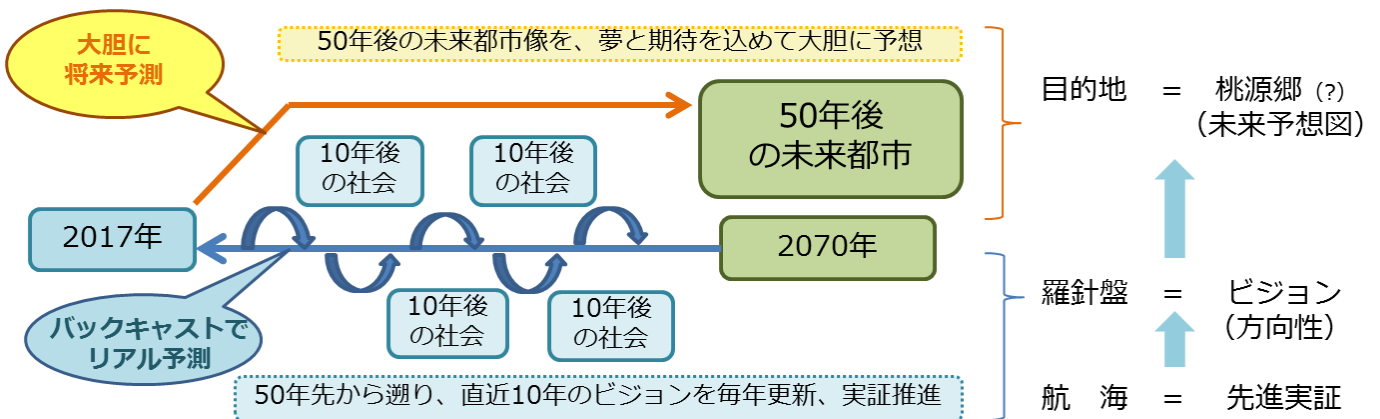
1. 研究会のねらい

(1) 未来を描く

50年の未来社会の姿を予測し、直近10年間に実用化が予想される新たな技術の開発や価値の創出、くらしの変化を織り込んだ「ビジョン」を市民目線で描き、豊田市民や国内外に提示する。

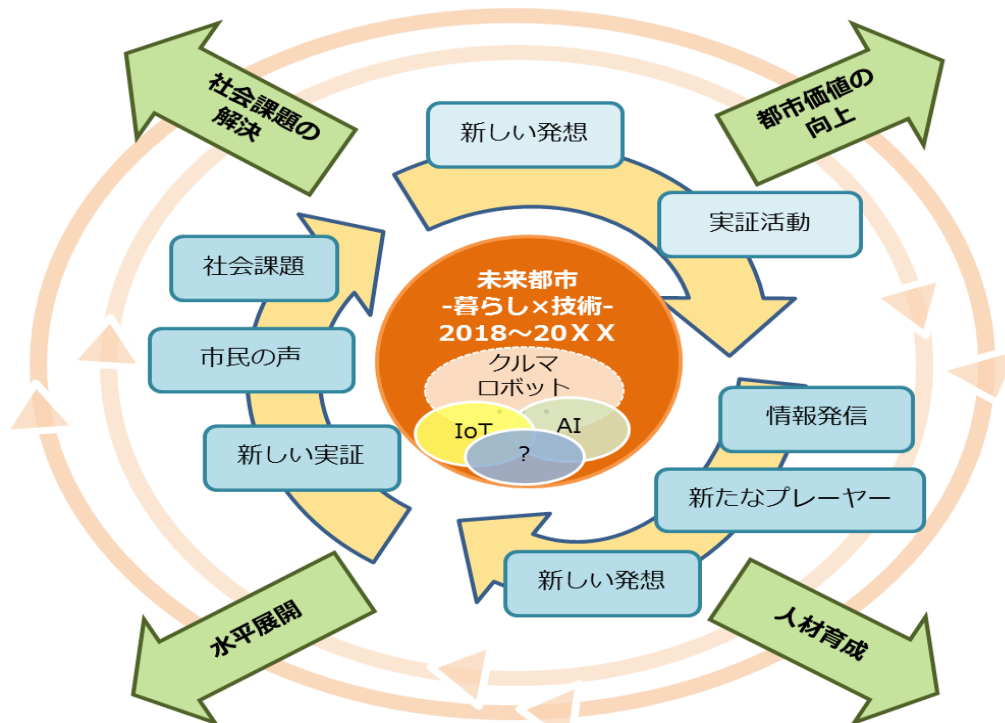
(2) 社会につなげる

ビジョンの実現に向けて多様なプレイヤーを呼び込みながら「未来を先取りする実証活動」を広く展開し、市民生活の向上、持続可能な社会の構築に貢献する。



オープンイノベーションサイクルの確立

「発想」×「実証」が多様な価値を創出し続ける「好循環モデル」を確立していく。



☆ 「発想×実証 = 価値創出」の好循環 ☆

2. 実施主体

(1) 研究会スターティングメンバー

中部電力株式会社、トヨタ自動車株式会社、名古屋大学未来社会創造機構、
三菱東京 UFJ 銀行、豊田市

(2) 実証への多様なプレイヤーの参画促進

未来都市の実現に向け、新たに必要となる技術や参画者を得てオープンイノベーション
サイクルを確立するため、ベンチャー企業や若手グループ等の育成・支援も促進。

エコフルタウン、SENTANのほか、豊田市全域をイノベーションラボに。
交流イベントの開催、イノベーション応援ファンドなどの検討

3. 新たな実証領域を拓く

未来都市の実現に向け、豊田市らしい自動走行技術、ロボット技術に加え、AI・IoT、
ビッグデータ等を活用した「未来を先取りする実証活動」を行う。

平成 30 年以降スタートする実証<例>

都市部でのシェアリング車両を活用した低速無人走行・駐停車	【トヨタ自動車ほか】
人と車両のコミュニケーション（個人のニーズに合った情報提供等）	【トヨタ自動車ほか】
自分の判断で車両を運転し、生活支援等を行うロボット開発	【東京大学ほか】
車載情報のまちづくりへの活用（道路・交通管理、防災等）	【名古屋大学、トヨタ自動車ほか】
AIロボットにより快適に暮らせるスマートハウス	【とよたエコフルタウンほか】

4. 実証からのフィードバック

これまでの産学官連携の実証から得られた知見を、未来都市研究会の活動に反映していく。

平 29	実証テーマ	概要	参画会員
6月	★バーチャルパワーブ ラントプロジェクト	家庭や企業の需給調整と、再生可能 エネルギーの地産地消現性を検証	中部電力、トヨタ自動 車、デンソー、トヨタ タービン&システム、
6月	★ICT を活用した電柱 看板からの情報配信	電子ペーパーを活用し、地域情報を 配信するサービスの開発	中部電力
8月	★遠隔住宅ケアサポー ト・システム実証	宅内の状態を把握できるよう、IoT 機器を活用したシステムの構築	パナソニック
9月	Ha:mo 利便性向上・ 利用多角化	車両設備の改善や観光連携メニュ ーの追加により利便性向上を検証	トヨタ自動車
10月	★LPWA を活用した見 守りサービス	児童の位置情報を確認できるサー ビスの構築	中部電力、KDDI
10月	★ヒト型ロボットによ るインフラ協調実証	ロボット「臆悟郎」を活用した EV の自動運転技術の開発・走行実証	東京大学
11月	★山間地でのゆっくり 自動運転実証	豊田市足助町内での時速 20 km以下 での低速自動走行実証	名古屋大学
11月	★超小型 EV 改造プロ ジェクト	超小型 EV にカメラや電子機器を装 着し、多様な使い方を検証	新明工業、愛知工業大 学、豊田高専

平成 29 年度に開始された実証を掲載 ★は報道機関等へ公表済み